

特別賞(全国地産地消推進協議会会長賞)

農業法人(株)神子の里

～直売所を拠点に限界集落からの脱却を目指した取組～

代表者: 松本 政文
所在地: 石川県羽咋市

構成員: 神子原地区の生産者131名
活動開始年月日: 平成19年7月

表彰理由

「消費者を裏切らない、質の高いものしか直売しない」、「農家の農家による消費者のための直売所」をモットーに、地元産コシヒカリを「神子原米」としてブランド化して販売するとともに、地元食材を使った加工品を販売。地元特産品のそばの作付面積の増加や生産者の所得向上、高齢者の生きがいづくりの創出につながる。

市と協働し、烏帽子親農家制度、棚田オーナー制度等による農業体験や消費者との交流活動、空き農家・農地情報バンク制度等に取り組むことにより、若者や都市住民の定住化や交流が促進され、高齢化率が改善されるなど、地域活性化にも貢献。

取組内容

1 直売所・農産加工の取組

平成17年から農家による会社経営、直売システムを計画し、「農業を若者の職業選択の一つに」を合言葉に、良質な農産物を生産販売する体制づくりに取り組み、19年7月に地産地消活動の拠点となる直売所(神子の里)を設置。

「消費者を裏切らない農産物、質の高いものしか直売しない」をモットーに取り組み、ブランド米「神子原米」や地元の新鮮な野菜を販売するとともに、神子原米のおにぎり、地元のそば・米・梅を使用したソフトクリーム等の加工品を販売。

神子原地区婦人部では平成8年から地元食材の料理コンクールにおいて新たな商品開発を続けてきたが、この活動が直売所の加工グループに引き継がれ、「そば粉のピリ辛おやき」、「そばのミニロールケーキ」を商品化。

POSシステムの導入により生産者が直接売上等を確認できるようになったことから、生産意欲、販売意欲の向上や高齢者が多数を占める生産者の生き甲斐づくりに寄与。

2 市と協働した消費者との交流活動の取組

市と協働して消費者との交流活動に取り組み、地域活性化にも貢献。

農家と都市住民が擬似的な親子関係を結んだ「烏帽子親農家制度」による農業体験の実施。

米・シタケ・筍・ナメコ・レンコンなどのオーナー制度や棚田オーナー制度を実施。
空き農家・農地情報バンクによる定住促進や耕作放棄地の増加阻止に貢献。